

第1日 10月23日(金) 13:00~15:30

午後の部会 (13:00~15:30)

部会1 「IR理論に依拠した学際的地域研究」

司会 草野 大希 (上智大学)

報告 重政 公一 (関西学院大学)

「ASEANの弁証法——人権と民主化をみる IR理論のパースペクティブ」

中村 覚 (神戸大学)

「サウディアラビアのロヒンギャ危機への対応——複合的な地域研究法を統合する全方位均衡論の試み」

大澤 傑 (駿河台大学)

「米州ボリバル同盟の設立と変容を説明する要因は何か——IR理論と地域研究の可能性と限界」

討論 酒井 啓子 (千葉大学)

勝間田 弘 (東北大学)

部会2 「帝國的秩序の崩壊と西側同盟関係」

司会 羽場 久美子 (青山学院大学)

報告 藤井 篤 (香川大学)

「脱植民地化と西側同盟——アルジェリア戦争とフランス・ベルギー関係」

三須 拓也 (東北学院大学)

「コンゴ動乱を巡る米英関係」

鈴木 宏尚 (静岡大学)

「再考・池田政権と東南アジア」

討論 都丸 潤子 (早稲田大学)

寺地 功次 (共立女子大学)

部会3 「21世紀東アジアにおける政治的価値観の対立——中国・台湾・香港関係の視点から」

司会 益尾 知佐子 (九州大学)

報告 谷垣 真理子 (東京大学)

「香港社会における『自由』の重要性——『一国』への挑戦」

門間 理良 (防衛省防衛研究所)

「COVID-19 流行の中で政治的価値強化に努める台湾」

加茂 具樹 (慶應義塾大学)

「国内政治と対外政策の相互作用：中国の国内政治としての対香港政策」

討論 松田 康博 (東京大学)
竹中 千春 (立教大学)

部会 4 “The Development and Limits of Regional Institutions: Comparative Studies of Non-Western Cases” (英語で実施)

Chair: HIGASHINO Atsuko (University of Tsukuba)

Speakers:

KOGA Kei (Nanyang Technological University)

“Strategic Role of Regional Security Institutions: Cases of SCO and SAARC”

SUZUKI Sanae (The University of Tokyo)

“Intervention and State Strength: ASEAN and ECOWAS Compared”

MUELLER Lukas Maximilian (University of Freiburg)

“Re-assessing Regionalism in the Global South from the inside out: Regional Public Administrations’ Contribution to ASEAN’s and ECOWAS’s Policy Processes”

Discussant:

DAIDOUJI Ryuya (Waseda University)

YUZAWA Takeshi (Hosei University)

部会 5 「冷戦を考える——歴史・思想・植民地主義の観点から」

司会 下斗米 伸夫 (神奈川大学)

報告 倉科 一希 (広島市立大学)

「冷戦と『ドイツ問題』」

鈴木 陽一 (下関市立大学)

「イギリス帝国終焉への道——冷戦期国際社会の変容と脱植民地化」

西村 邦行 (南山大学)

「〈政治哲学の死〉の影で——冷戦期アメリカ国際関係論の精神史試論」

討論 葛谷 彩 (明治学院大学)

池田 亮 (東北大学)

分科会セッション A (15:45~17:15) 別掲

分科会セッション B (17:30~19:30) 別掲

第2日 10月24日(土) 9:30~12:00, 15:30~18:20 (共通論題)

午前の部会 (9:30~12:00)

部会 6 “Critical Analysis of Global Policy on Humanitarian Crisis” (英語で実施)

Chair: KAWAGUCHI Chigumi (Toyo Gakuen University)

Speakers:

KAMINO Tomoya (Gifu University)

“National Policy of Disaster Response: the US and Japan”

GOMEZ Oscar A. (Ritsumeikan Asia Pacific University)

“A Model for the Global Governance of Crises? The Health Emergencies Programme and the Limits of International Response”

IKEDA Josuke (University of Toyama)

“Peacebuilding Paradigm Sustainable? A Critical Theoretical Inquiry through Forced Displacement”

Discussant:

OKABE Midori (Sophia University)

SHIGA Hiroaki (JICA Research Institute)

部会 7 「エアバス、欧州航空機産業と米国——経済ロジックと安全保障ロジックの融合と対立」

司会 鈴木 一人 (北海道大学)

報告 鈴木 均 (外務省)

「エアバスと米国——経済ロジックと安保ロジックの相克と対立」

上原 良子 (フェリス学院大学)

「仏ダッソー社の独自路線——国家・安全保障・グローバルマーケット」

河越 真帆 (神田外語大学)

「EU によるエアバス側面支援——補助金をめぐる GATT/WTO 紛争」

討論 鈴木 一人 (北海道大学)

田所 昌幸 (慶應義塾大学)

部会 8 「グローバル・リスクをめぐるガバナンス」

司会 山田 哲也 (南山大学)

報告 川村 仁子 (立命館大学)

「先端科学・技術のガバナンス——研究開発のためのリスク管理の枠組み」

前田 幸男 (創価大学)

「人類は気候危機を乗り越えられるのか? ——脱人間中心のガイア政治に向けて」

和田 洋典 (青山学院大学)

「金融主導のグローバリズムから経済国民義へ——リスト、大塚、ギルピンの所論から」

討論 須田 祐子 (東京外国語大学)

上村 雄彦 (横浜市立大学)

部会 9 「変容する国際関係と日本の開発援助」

司会 高柳 彰夫 (フェリス女学院大学)

報告 高橋 良輔 (青山学院大学)

「ジオエコノミクス化する日本の ODA——パワーと価値の新たな地理的投射」

船田クラーセン さやか (明治学院大学)

「国際関係と日本の対アフリカ投資・開発援助——モザンビークの事例」

山本 レイモンド (オーフス大学)

"Japan's Development Cooperation Strategy and the SDGs? Analysing the country's efforts towards 'Climate Action'"

討論 岡部 恭宜 (東北大学)

小川 裕子 (東海大学)

部会 10 日韓合同部会 “Japan, Korea and the Post-Cold War Era” (英語で実施)

司会 飯田 敬輔 (東京大学)

報告 佐藤 丙午 (拓殖大学)

『新しい通常』と日米韓の安全保障関係」

CHUN Jahyun (Yonsei University)

"Clashing Geostrategic Choices in East Asia, 2009-2015: Re-balancing, Wedge Strategy, and Hedging"

KIM Dongsoo (Pukyong National University)

"Changes in International Relations and U.S.-China Relations in the Age of COVID-19"

討論 添谷 芳秀 (慶應義塾大学)

上村 直樹 (南山大学)

分科会セッション C (13:30~15:10) 別掲

総会 (15:10~15:30)

【共通論題】『主権』をめぐる攻防 (15:30~18:20)

司会 後藤 春美 (東京大学)

報告 中西 寛 (京都大学)

「普通の国から不思議の国へ——冷戦後の日本と主権」

勝間 靖 (早稲田大学)

「COVID-19 影響下における国際機構、国際保健協力、政治的リーダーシップのゆくえ——WHO、製薬企業、シラクサ原則をめぐる論争」

錦田 愛子 (慶應義塾大学)

「国家主権の外側におかれる者の危機——移民／難民およびパレスチナの権利をめぐる」

討論 納家 政嗣 (上智大学)

長 有紀枝 (立教大学)

第3日 10月25日(日) 14:00~16:30

分科会セッションD (9:30~11:00) 別掲

分科会セッションE (11:15~12:45) 別掲

午後の部会 (14:00~16:30)

部会 11 「平和構築と国際秩序」

司会 井上 実佳 (東洋学園大学)

報告 篠田 英朗 (東京外国語大学)

「パートナーシップ平和活動と重層的な国際安全保障体制」

帯谷 俊輔 (東京大学)

「国際連盟期の平和維持——大戦・国境紛争・内戦」

中谷 純江 (国際連合)

「国連と地域機構の PKO に於けるパートナーシップ——スーダンを参照とした現実を踏まえて」

討論 等松 春夫 (防衛大学校)

井上 実佳 (東洋学園大学)

部会 12 「日米安保体制と核兵器問題」

司会 波多野 澄雄 (国立公文書館)

報告 中島 琢磨 (九州大学)

「原子力潜水艦の日本寄港問題——核兵器搭載艦艇の寄港問題の争点化」

西村 真彦 (京都大学)

「核持ち込み問題に関する日米両国の認識形成過程——核『密約』研究の現状と課題」

岸 俊光 (毎日新聞社/早稲田大学)

「日本の非核政策の源流——日本政府下の『現実主義』学者による委託研究からの考察」

討論 岩間 陽子 (政策研究大学院大学)

河内 孝 (外国特派員協会)

部会 13 「歴史研究と理論研究の融合はどこまで可能か——新たな研究方法の模索」

司会 宮下 明聡 (東京国際大学)

報告 島村 直幸 (杏林大学)

「リベラルな国際秩序ははたして維持されるのか——理論と歴史の間」

中谷 直司 (帝京大学)

「外交史の研究者はなぜ理論を使わないのか——研究者の『生存競争』を超えて」

泉川 泰博（中央大学）

「理論研究と歴史研究の統合——懐疑的見解」

討論 宮下 明聡（東京国際大学）

山本 健（西南学院大学）

部会 14 「レファレンダムと国際政治——民主主義と地域的秩序の共振」

司会 池本 大輔（明治学院大学）

報告 尾立 要子（大阪府立大学）

「暴力から共存へ——2018 年レファレンダムに至るフランスとニューカレドニアの絶えざる交渉」

高林 敏之（立教大学）

「棚上げされた住民投票——西サハラ国連和平プロセスの《破綻》とアフリカ地域情勢」

吉武 信彦（高崎経済大学）

「欧州統合過程におけるレファレンダム——北欧諸国の事例を中心として」

討論 池本 大輔（明治学院大学）

黒田 友哉（専修大学）

部会 15 「ナショナリズムと暴力」

司会 加藤 普章（大東文化大学）

報告 青山 弘之（東京外国語大学）

「シリアの非国家武装勢力の実態」

岡野 英之（近畿大学）

「隣国に漏出するナショナリズム——ミャンマー内戦におけるシャン人ナショナリズムとタイへの移民」

奥野 良知（愛知県立大学）

「カタルーニャ・スペイン問題：その要因と現状——進む国際問題化」

討論 落合 雄彦（龍谷大学）

内田 みどり（和歌山大学）

一般財団法人日本国際政治学会 2020 年度研究大会 分科会プログラム

◆10月23日(金)

分科会セッション A (15:45~17:15)

- A-1 東南アジア分科会 I** 責任者 増原 綾子 (亜細亜大学)
- テーマ 東南アジアの地方政治
- 司会 増原 綾子 (亜細亜大学)
- 報告 西村 謙一 (大阪大学)
- 「住民参加は自治体パフォーマンスにいかなる影響を与えるのか——フィリピンを例にして」
- 長谷川 拓也 (京都大学)
- 「地方発の政策革新とその波及——インドネシア公務員報酬制度の変化」
- 討論 日下 渉 (名古屋大学)
- 小山田 英治 (同志社大学)
-
- A-2 理論と方法 I** 責任者 岩波 由香里 (大阪市立大学)
- テーマ 実験・計量分析
- 司会 小濱 祥子 (北海道大学)
- 報告 松本 朋子 (東京理科大学)
- "The Role of Concern for Self in Redistribution Preferences and Support for the Welfare State"
- 飯田 健 (同志社大学)
- “Does a Patron State’s Hardline Posture Reassure the Public in an Allied State?: Evidence from a Quasi-Natural Experiment”
- 土井 翔平 (早稲田大学)、栗崎 周平 (早稲田大学)
- 「新たな安全保障問題としての ESG 投資ジレンマ——グローバルな株保有ネットワークの分析」
- 篠本 創 (京都大学)
- 「米国の積極的関与と反米感情——脅威認識と駐留米軍の規模の観点から」
- 討論 松村 尚子 (神戸大学)
- 伊藤 岳 (広島大学)
-
- A-3 政策決定分科会** 責任者 川名 晋史 (東京工業大学)
- テーマ イノベーションエコシステムの変容と管理をめぐる政策決定
- 司会 高山 嘉顕 (日本国際問題研究所)
- 報告 松村 博行 (岡山理科大学)

「STEM人材の受け入れを巡る政策決定——トランプ政権を中心」

齊藤 孝祐（横浜国立大学）

「新興技術の普及と規制——『想像上の価値』をめぐる安全保障政策の変容」

討論 土屋 貴裕（京都先端科学大学）

手塚 沙織（南山大学）

A-4 国際交流分科会 I

責任者 齋川 貴嗣（高崎経済大学）

テーマ 国際文化交流からグローバル文化交流へ——国際交流研究の将来を展望する（ラウンドテーブル）

司会 加藤 恵美（帝京大学）

報告者 芝崎 厚士（駒澤大学）

「『文化』と『文化』の出会い——グローバル交流研究のための覚書」

討論 井上 浩子（大東文化大学）

齋川 貴嗣（高崎経済大学）

A-5 国連研究分科会

責任者 滝澤 美佐子（桜美林大学）

テーマ 国連専門機関と加盟国との関係——対立と協力の諸動向

司会 滝澤 美佐子（桜美林大学）

報告 張 雲（新潟大学）

「権威主義体制における国際機関の運営メカニズム——世界労働機関とミャンマー軍政中枢の認知変化の事例を中心に」

詫摩 佳代（東京都立大学）

「グローバル・ヘルスガバナンスの変容とアクター——新型コロナ対応で見えた課題」

討論 勝間 靖（早稲田大学）

杉浦 功一（和洋女子大学）

A-6 若手研究者・院生研究会分科会 I

責任者 湯浅 拓也（青山学院大学）

テーマ 国際金融の枠組みをめぐる国際政治

司会 大山 貴稔（九州工業大学）

報告 津田 久美子（北海道大学）

「国際課税から見る国際金融規制の枠組み」

川波 竜三（慶應義塾大学）

「戦後国際通貨システムの動揺とアメリカ——ポンド危機に揺れるイギリスへの対応、1964～1968年」

討論 古城 佳子（青山学院大学）

山口 育人（奈良大学）

分科会セッション B (17:30~19:30)

- B-1 東アジア** 責任者 加茂 具樹 (慶應義塾大学)
- テーマ 東アジア
- 司会 加茂 具樹 (慶應義塾大学)
- 報告 山崎 周 (青山学院大学)
「中国の対米戦略とそのエネルギー安全保障問題へ影響——対中東エネルギー政策及び日両国の比較から考察」
李 孝連 (一橋大学)
「国際関係における国家ブランド・イメージ形成のメカニズム——日本の人的交流の事例を中心に」
- 討論 田中 浩一郎 (慶應義塾大学)
中村 登志哉 (名古屋大学)
- B-2 東南アジア分科会 II** 責任者 増原 綾子 (亜細亜大学)
- テーマ 東南アジアにおける理念と国際関係
- 司会 増原 綾子 (亜細亜大学)
- 報告 西 直美 (同志社大学)
「宗教とナショナリズム——イスラームからみるタイ深南部紛争の諸相」
井原 伸浩 (名古屋大学)
「経済協力理念としてのマニラ・スピーチとその政策」
- 討論 河野 毅 (東洋英和女学院大学)
若月 秀和 (北海学園大学)
- B-3 理論と方法 II** 責任者 岩波 由香里 (大阪市立大学)
- テーマ 応用ゲーム理論
- 司会 岩波 由香里 (大阪市立大学)
- 報告 広瀬 健太郎 (早稲田大学)
“Why Power Asymmetry Prevents War: Bargaining in the Shadow of Cooperation”
石黒 馨 (神戸大学)
「貿易戦争の緩衝としての貿易協定」
井奥 崇輔 (早稲田大学)
“Resolved or Belligerent: Threats and Assurances with Military Mobilization”
- 討論 栗崎 周平 (早稲田大学)
岩波 由香里 (大阪市立大学)

- B-4 国際政治経済分科会 I** 責任者 小川 裕子 (東海大学)
- テーマ 国際規範の新次元
- 司会 小川 裕子 (東海大学)
- 報告 赤星 聖 (関西学院大学)
- “Roles of Guiding Principles in the Polycentric World: A Comparative Study of ‘Business and Human Rights’ and ‘Internal Displacement’”
- 稲田 十一 (専修大学)
- 「急拡大する中国の対外経済協力とその『規範』の変容可能性——ミャンマー・ミソソンドムの事例を中心に」
- 討論 西谷 真規子 (神戸大学)
- 和田 洋典 (青山学院大学)
-
- B-5 国際交流分科会 II** 責任者 齋川 貴嗣 (高崎経済大学)
- テーマ 自由論題報告
- 司会 齋川 貴嗣 (高崎経済大学)
- 報告 上地 聡子 (日本大学)
- 「『沖縄人』という一体感の構築——敗戦直後における沖縄『在外同胞』情報共有過程の分析から」
- 島田 大輔 (早稲田大学)
- 「冷戦下日本における対ムスリム宣伝工作と国際交流——国際モスLEM協会 (1952-60) とその機関誌 Green Flag の分析を通じて」
- 平井 新 (早稲田大学)
- 「『対外戦略』としての移行期正義——台湾の対中国大陸向け声明を事例に」
- 討論 辛島 理人 (神戸大学)
- 五十嵐 元道 (関西大学)
-
- B-6 若手研究者・院生研究会分科会 II** 責任者 湯浅 拓也 (青山学院大学)
- テーマ 国際秩序をめぐる先端研究
- 司会 深澤 一弘 (一橋大学)
- 報告 水野 良哉
- 「『ヨーロッパの再建』を目指して——第一次世界大戦下におけるアーノルド・J・トインビーの戦後構想」
- 守谷 優希 (一橋大学)
- 「加盟国の外交姿勢からの欧州連合の外交政策の再解釈——ベルギーと日欧 SPA」
- 渡辺 司 (青山学院大学)
- 「国内紛争における第三者介入の効果——紛争期間に対する直接効果と間接効果」
- 討論 小濱 祥子 (北海道大学)
- 湯浅 拓也 (青山学院大学)

◆10月24日(土)

分科会セッションC(13:30~15:10)

- C-1 日本外交史分科会** 責任者 高橋 和宏(法政大学)
- テーマ 自由論題
- 司会 高橋 和宏(法政大学)
- 報告 金子 貴純(大東文化大学)
- 「日中諸懸案の『地方的解決』をめぐる外務省と陸軍の論理と政策——1935年を中心に」
- 森田 吉彦(大阪観光大学)
- 「高坂正堯の国際政治思想と学問形成」
- 八代 拓(山口大学)
- 「池田政権とカレル・ドールマン号事件——冷戦と経済の交錯」
- 討論 戸部 良一(防衛大学校)
- 細谷 雄一(慶應義塾大学)
- 佐藤 晋(二松學舎大学)
-
- C-2 欧州国際政治史・欧州研究分科会 I** 責任者 池田 亮(東北大学)
- テーマ イギリスと中東・地中海
- 司会 池田 亮(東北大学)
- 報告 入山 慎一(東京大学)
- 「ジブラルタル問題とイギリス外交(1964年~69年)——国連における脱植民地化の議論と英西関係」
- ミラー富永 枝里香(一橋大学)
- 「1973年石油危機と中東和平プロセスにおけるイギリスの対米協調政策」
- 田中 亮佑(防衛研究所)
- 「英国保守党とイラク戦争——冷戦後の対湾岸政策と武力行使の観点から」
- 討論 小野沢 透(京都大学)
- 細田 晴子(日本大学)
- 小川 浩之(東京大学)
-
- C-3 アフリカ分科会・国連研究分科会** 責任者 佐藤 章(アジア経済研究所)
- 滝澤 美佐子(桜美林大学)
- テーマ アフリカと国連——脱植民地化から平和の定着へ
- 司会 佐藤 章(アジア経済研究所)
- 報告 山田 真弓(立命館大学)
- 「人道開発と平和構築における国連の役割——南スーダンの現状と課題」

井上 実佳 (東洋学園大学)

「1990年代における国連PKOの変容とソマリア——『グールディング・レポート』
(1997)の地域機構に関する提言をめぐって」

佐藤 裕視 (ハーバード大学)

「エウエ統一運動と英国信託統治領トーゴの自決——国連を介したトランスファー・オブ・パワーの模索」

討論 前川 和歌子 (名古屋商科大学)

三須 拓也 (東北学院大学)

C-4 理論と方法Ⅲ 責任者 岩波 由香里 (大阪市立大学)

テーマ テキスト分析

司会 多湖 淳 (早稲田大学)

報告 片桐 梓 (シンガポール南洋理工大学)

“Deliberating for De-escalation: US Troop Withdrawal from Vietnam”

ジョナサン ルイス (一橋大学)、松村 尚子 (神戸大学)、大林 一広 (一橋大学)、
渡辺 綾 (日本貿易振興機構 (JETRO) アジア経済研究所)

“Legislative Speeches and Political Violence: The Case of the Philippines”

討論 松本 朋子 (東京理科大学)

C-5 国際統合分科会Ⅰ 責任者 武田 健 (東海大学)

テーマ 欧州統合の求心力——域内と域外の比較

司会 武田 健 (東海大学)

報告 市川 顕 (東洋大学)

「イリベラル・デモクラシーをめぐるポーランド=EU 関係——ポーランドの
COVID-19 対策を事例に」

討論 羽場 久美子 (青山学院大学)

小林 正英 (尚美学園大学)

C-6 国際政治経済分科会Ⅱ 責任者 小川 裕子 (東海大学)

テーマ グローバル・ガバナンスの新形態

司会 小川 裕子 (東海大学)

報告 三浦 聡 (名古屋大学)

“Life Between Fragmentation and Integration: An Ecosystem Model of Global Governance”

上村 雄彦 (横浜市立大学)

「人類の生存危機を回避するためのグローバルな政策と制度に関する一考察——グ
ローバル・タックスと世界政府論を中心に」

向山 直佑 (オックスフォード大学)

“Painting States in Oil: The Separate Independence of Resource-Rich Colonial Areas”

討論 山田 敦（一橋大学）
遠藤 貢（東京大学）

C-7 環境 責任者 渡邊 智明（福岡工業大学）

テーマ 地球環境レジームの「有効性」問題

司会 亀山 康子（国立環境研究所）

報告 川本 充（慶應義塾大学）

「地球環境条約レジームの『実効性』概念について——多義性からの考察」

阪口 功（学習院大学）

「プライベートレジーム・コンプレックスとメタ・ガバナンス・スキーム——制度
間相互作用と有効性問題」

討論 渡邊 智明（福岡工業大学）

横田 匡紀（東京理科大学）

◆10月25日（日）

分科会セッションD（9:30～11:00）

D-1 東アジア国際政治史分科会 責任者 家永 真幸（東京女子大学）

テーマ 戦後日本における「外国人」管理をめぐる政治・外交

司会 家永 真幸（東京女子大学）

報告 崔 紗華（同志社大学）

「朝鮮籍回復運動の展開過程とその意義——1960年代後半における日朝・日韓関係
に着目して」

鶴園 裕基（早稲田大学）

「外国人登録と日本華僑——占領期における華僑管理政策の展開（1947-1951）」

討論 新垣 修（国際基督教大学）

井上 正也（成蹊大学）

D-2 欧州国際政治史・欧州研究分科会Ⅱ 責任者 池田 亮（東北大学）

テーマ 冷戦期ヨーロッパの諸構想

司会 山本 健（西南学院大学）

報告 黒木 美來（早稲田大学）

「欧州統合構想をめぐるイギリス労働党と欧州統合運動団体の対立——1948年5月
ハーグ会議への参加問題を事例として」

高坂 博史（京都大学）

「新冷戦下の欧州における安全保障デタントの展開と西欧の役割」

討論 上原 良子（フェリス女学院大学）

黒田 友哉（専修大学）

- D-3 ラテンアメリカ分科会** 責任者 舩方 周一郎（東京外国語大学）
- テーマ 内政と国際関係の再検証
- 司会 舩方 周一郎（東京外国語大学）
- 報告 山岡 加奈子（アジア経済研究所）
「中ロ台頭下のキューバ革命体制の存続要因としての外交——ベトナムとの比較」
舩方 周一郎（東京外国語大学）
「ラテンアメリカ気候変動政策への中国戦略的パートナーシップの関与」
- 討論 庄司 智孝（防衛研究所）
鄭 方婷（アジア経済研究所）
-
- D-4 国際統合分科会Ⅱ** 責任者 武田 健（東海大学）
- テーマ ヨーロッパの地域機構と主権国家
- 司会 鶴岡 路人（慶應義塾大学）
- 報告 大内 勇也（早稲田大学）
"The Operationalization of European Human Rights Norms in the 1960s: the Greek Case in the Council of Europe"
清水 謙（立教大学）
「スウェーデンにおける『中立』と欧州統合——第一次パルメ政権期の西側軍事協力と EC 加盟論」
- 討論 網谷 龍介（津田塾大学）
鶴岡 路人（慶應義塾大学）
-
- D-5 国際政治経済分科会Ⅲ** 責任者 小川 裕子（東海大学）
- テーマ グローバル・ガバナンスとビジネス
- 司会 小川 裕子（東海大学）
- 報告 鈴木 麻央（南カリフォルニア大学）
"Deciding Modalities of Global Health Governance: What Facilitates or Hinders Public-Private Partnerships?"
御代田 有希（一橋大学）
「グローバル課題の解決手法としての ESG 投資——日本における傾向と普及要因を事例に」
藤田 将史（東京大学）
「米国有権者の国際貿易協定に対する反発——一般的信頼による貿易選好の形成」
- 討論 杉之原 真子（フェリス学院大学）
鈴木 一敏（上智大学）

D-6 平和研究分科会 責任者 清水 奈名子 (宇都宮大学)

テーマ 自由論題

司会 清水 奈名子 (宇都宮大学)

報告 小松 寛 (茨城大学)

「日本復帰後の沖縄県による自治体外交と中台問題」

外村 晃 (在スリランカ日本大使館)

「中断された正義——スリランカの移行期の正義における今後の見方」

討論 深串 徹 (愛知大学)

クロス 京子 (京都産業大学)

D-7 若手研究者・院生研究会分科会Ⅲ 責任者 湯浅 拓也 (青山学院大学)

テーマ 自由貿易体制における社会課題

司会 湯浅 拓也 (青山学院大学)

報告 深澤 一弘 (一橋大学)

「なぜアメリカと EU では貿易に関する労働条項に差異があるのか——自由貿易協定の事例分析」

討論 富田 晃正 (埼玉大学)

岡本 次郎 (下関市立大学)

分科会セッション E (11:15~12:45)

E-1 欧州国際政治史・欧州研究分科会Ⅲ 責任者 池田 亮 (東北大学)

テーマ グローバル・ヒストリーからみる国際法／国際社会の「拡大」——C. H. Alexandrowicz と英国学派

司会 大中 真 (桜美林大学)

報告 幡新 大実 (大阪女学院大学)

「アレクサンドロヴィッチにおける『国際社会』の構成国要件に関する史実的批判」

千知岩 正継 (立命館アジア太平洋大学)

「国際社会の『拡大』再考——英国学派と国際機構論の邂逅に向けた予備的作業」

討論 池田 丈祐 (富山大学)

E-2 アメリカ政治外交・東アジア国際政治史合同分科会 責任者 森 聡 (法政大学)

テーマ 冷戦期デタント外交再考

司会 森 聡 (法政大学)

報告 兪 敏浩 (名古屋商科大学)

「デタントと中国外交の転換 (1972-1974)」

尾身 悠一郎 (一橋大学)

- 「カーター政権の対ソ・対中エネルギー政策」
- 討論 益尾 知佐子（九州大学）
水本 義彦（獨協大学）
- E-3 中東分科会** 責任者 松尾 昌樹（宇都宮大学）
- テーマ 国際情勢の変化と内政——相互作用のダイナミクス
- 司会 松尾 昌樹（宇都宮大学）
- 報告 鈴木 啓之（東京大学）
「和平と和解のジレンマ——パレスチナ暫定自治政府を事例に」
千坂 知世（大阪大学）
「イラン・イスラム共和制における選挙による対外的正当性の追求」
- 討論 松永 泰行（東京外国語大学）
錦田 愛子（慶應大学）
- E-4 国際統合分科会Ⅲ** 責任者 武田 健（東海大学）
- テーマ ヨーロッパ統合の多次元連関——サブナショナル、ナショナル、EU、インターナショナル
- 司会 望月 康恵（関西学院大学）
- 報告 松尾 秀哉（龍谷大学）
「分離独立運動と EU——ベルギーを例として」
小松崎 利明（天理大学）
「EU の対国際刑事裁判所政策の態様」
- 討論 松本 佐保（名古屋市立大学）
望月 康恵（関西学院大学）
- E-5 安全保障分科会** 責任者 小谷 哲男（明海大学）
- テーマ 安全保障の思想と理論
- 司会 小谷 哲男（明海大学）
- 報告 張 帆（京都大学）
「冷戦後期の防衛論争と日本の現実主義者」
Ivan González Pujol（専修大学）
“Making Theoretical and Analytical Sense out of the Hedging Strategy: National Interests, Genuine Objectives, and Mixed Means of Foreign Policy”
佐桑 健太郎（青山学院大学）、渡辺 理子（無所属）
“Intentional Alliance and Rivalry Networks and Conflict Diffusion: Simulating the Effect of Network Structure”
- 討論 泉川 泰博（中央大学）
中山 俊宏（慶應義塾大学）

- E-6 ジェンダー分科会** 責任者 中村 文子（山形大学）
- テーマ 武力紛争と女性
- 司会 中村 文子（山形大学）
- 報告 米川 正子（筑波学院大学）
- " Forced Displacement and Sexual Violence in Conflict Zones: A Case Study of Congolese
 Refugee Women"
- 高松 香奈（国際基督教大学）
- 「紛争後の復興プロセスとジェンダー——女性兵士の処遇をめぐって」
- 討論 上野 友也（岐阜大学）

※本プログラムに関するお問い合わせは、分科会代表幹事（松尾昌樹：matsuom@cc.utsunomiya-u.ac.jp）までお願いいたします。